

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・店舗がリニューアルされ一層きれいになり、また駐車場もきちんと整備されたため、今後の売上は良くなる。また、近隣のファミリーレストランも客数が増えており、同時に集客力が増して、良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・当店は祭り用品の店だが、これから夏～秋に向け祭りが盛んになっていく時期である。今まで冬眠状態であったが、問い合わせが入りはじめ、動き出している。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・来年の大河ドラマ放映に向けて注目度が上がってきている。客との会話の中にも、大河ドラマの話題が必ず出るようになってきている。
		百貨店（店長） スーパー（店長）	・関連施設、公共施設がオープンするため、やや良くなる。 ・夏季賞与が増加する企業が増え、購買意欲は高まると見ている。
		スーパー（統括）	・県内製造業経営者との懇談の際、約半数から好況の声が聞こえ、夏の賞与支給状況が改善傾向にある。景気改善の動きが、生活実態に波及してくる。
		スーパー（商品部担当）	・プレミアム付商品券の発行により、少しでも単価上昇を期待している部分があるので、良くなってほしい。
		コンビニ（経営者）	・当地は、夏に向かって来街者が増える。
		コンビニ（経営者）	・7～8月はコンビニにとって、一番の勝負時で、売上も伸びる時期である。今年はエルニーニョ現象で、気温あるいは天候の不順がありそうだが、ある程度期待したい。
		コンビニ（経営者）	・夏休み明けに、地域のイベントも増え、来客の動きは活発になるとみている。
		コンビニ（経営者）	・7月には、プレミアム付商品券の発売があり20%分のプレミアムに期待している。
		住関連専門店（経営者）	・地方においても、前年を上回る賞与の支給が予想され、消費は拡大傾向となりそうである。
		住関連専門店（仕入担当）	・プレミアム付商品券の使用が始まり、高額品の動きにプラスの影響が見込まれる。
		一般レストラン（経営者）	・夏場の天候次第でもあるが、夏らしい夏になれば飲食に回す金額が増える。特に観光客はやや贅沢なメニューでもためられない傾向が顕著になってきており、夏の帰省、観光シーズンに期待している。
		スナック（経営者）	・前年に比し、明らかに景気は改善している。ようやく良い感じになってきたようである。このまま続けてもらいたい。
		観光型ホテル（経営者）	・夏休みシーズンとなるため、やや良くなる。
		観光型旅館（経営者）	・浅間山噴火による風評被害の影響はあるものの、7月にかけて、ふるさと旅行券の効果が上回り好調が続く。また、9月のシルバーウィークもあり、宿泊業は良い状況が続くとみている。
		都市型ホテル（副支配人）	・7～8月にかけては、地元で開催される大きなイベントがあり、また、各種スポーツ団体、ファミリー客などの需要が増すため、現状よりは間違いなく良くなる。
		旅行代理店（営業担当）	・7～9月にかけ夏季繁忙期を迎えるため、販売量は増加する。
		通信会社（経営者）	・景気に薄明かりが見えてきている。
		通信会社（営業担当）	・実質賃金の上昇やボーナス支給により、海外旅行等は前年より伸びると期待できる。
		通信会社（局長）	・サービスの解約数が減少してきている。また、サービス利用の増加も続いている。
		観光名所（職員）	・アジアに向けた県や企業のキャンペーン、円安の影響もあり、訪日客の入込は好調である。しかし日本人観光客の動きは大きく変わっていない。
ゴルフ場（総務部長）	・10月に大きなイベントを企画しており、3か月後の予約がすでに埋まってきている。		
変わらない		商店街（代表者）	・商店街の店を訪ねても、衣料品店経営者は、午前中は運送会社の配達に出ており不在、また別の店の主人は午前中はパチンコ店の清掃に出て不在である。これは日銭が入らない分、他で仕事をして店の帳尻を少しでも良くしようとしているようであるが、非常に困ったものである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・プレミアム付商品券の利用が、今後の明るい材料になればと思っているが、なかなか客は乗ってこない。まだ、先はぼんやりしている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・一般家庭用の太陽光発電設置などの高額商品は、話題にも上らなくなり、家電の新製品が発売されても消費者の関心は薄い。売上増にはまだまだ厳しい状況である。

一般小売店〔家電〕 (経営者)	・まだまだ地方での景気の回復が感じられないため、変わらない。
一般小売店〔青果〕 (店長)	・個人商店は、病院、学校、その他施設等の納品業務を獲得しない限り、店頭売りだけでは、人は通らず客が来ない状態が続いていく。
百貨店(営業担当)	・一部の企業で値上げはあるようだが、将来的にその分が個人消費されるような雰囲気ではない。貯蓄に回すようである。
百貨店(営業担当)	・一部、夏物衣料のセールがスタートしているが、あまり盛り上がっていない。また、お中元ギフトの売上も大きな伸びは期待できない状況にあり、今後数か月先も変わらないとみている。
百貨店(販売促進担当)	・夏期賞与増額や株高、インバウンド消費など明るい話題を耳にするが、地方都市ではほとんど聞かない。厳しい状況は今後も継続する。
百貨店(店長)	・消費に力強さはない。消費者は非常に慎重である。
百貨店(副店長)	・プレミアム付商品券の発売で大きな期待をしていたが、周囲に聞くと家電の買い換えが圧倒的に多い。徹底的にお得感を追求するようで、百貨店で普段買えないぜいたく品を、ということにはならない。来月にはクリアランスセールもスタートするのでぜひ使ってほしいが、良くなる実感は薄い。
スーパー(総務担当)	・前年も売上は少しずつ回復しており、その前年度対比となると売上も良くなってこないのではないかと。
コンビニ(店長)	・今のところ付近でこの先変化もないため、特別大きく変わることはない。ただ、キャンペーンなどを行っても、それに応じて客数が一気に増えることはなくなってきており、若干悪いような気もするが、特別大きく変化することはないのではないかと。
衣料品専門店(販売担当)	・来店客の雰囲気が、つかみどころがない。何か、打っても響かない感じである。現状よりも悪くなっては困るが、今月は相当悪く、今後もそれと変わらず悪いのではないかと。これから夏物商戦だが、現在定価品を買う客が激減しており、セールで仕掛けてみないとわからないが、何かあまり良くない平坦さが続くのではないかとみている。
家電量販店(店長)	・これ以上は悪くならない。前年の消費税増税前の駆け込み需要が大きく、反動がまだ継続していることと、主要商品単価が前年より上昇しているため景気が上向き可能性はある。
乗用車販売店(経営者)	・客の動きが少ない。
乗用車販売店(経営者)	・当地の自動車関連2次下請経営者に業況を聞いたが、忙しいすぎるうえ、乾いた雑巾をさらに絞られるような仕事でやめたいほどである。従業員の生活を考えるとそうもいかず希望が持てない、などの発言があった。1次下請企業は相変わらず良いようである。
乗用車販売店(経営者)	・この時期、新車販売は新型モデルの発表も少なく、ふるわない。秋ごろになれば活発な動きが出てくるかもしれない。
乗用車販売店(営業担当)	・軽自動車の商談が多いなか、仕入価格をいかに安くできるか、毎月のことだがディーラーとの駆け引きが重要になっている。
乗用車販売店(販売担当)	・今月に入り、ようやく良くなったばかりなので、今後もこれ以上良くなるとは考えていない。2～3か月先は、今と変わらない景気が続くのではないかと。
乗用車販売店(販売担当)	・毎年のごとだが6～7月は梅雨時であり、8月は行楽で海や山に客が向かうため、展示会を開いても客は来ない。2～3か月先は、今のところ良くなる要素はなく、このままの低水準で推移していくとみている。
自動車備品販売店(経営者)	・身の回りで、良くなる要因があまり見当たらない。緊縮、我慢をしているユーザーは、そのまま我慢し続ける傾向があり、購買意欲、購買量が上がらない。
住関連専門店(店長)	・当店も周辺の競合店も、特売品はよく売れるがそれ以外はあまり売れていない。売上はそこそこだが、利益は出ていない。
一般レストラン(経営者)	・大型飲食店出店の影響は当分続く。今のところ、プレミアム付商品券の効果もそれほどない。
一般レストラン(経営者)	・地方の外食事業は、どこの店舗も非常に苦戦を強いられている。なかなか回復傾向とはならない。
一般レストラン(経営者)	・根付いた不景気のイメージを払拭するほどの好景気感はなく感じられず、経営はかなり難しくなっている。
スナック(経営者)	・先行きは不透明である。

	スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、本来ならやや悪くなる、のような気がしている。これ以上悪くならないようにということで選択したが、本当に地方は大変である。なんとかならないものか。
	都市型ホテル（営業担当）	・現状、特に良くなる要素は不足している。現状のまま推移し、現在が前年と同レベルの集客状況なので、それを維持していくのではないか。
	旅行代理店（従業員）	・自然災害の影響が大きい。
	タクシー運転手	・タクシーだけの判断では、都市部と地方では全然違うだろう。今後もこのような状況が続くとみている。
	タクシー運転手	・前月、今月とも前年比101%で、平衡している。
	通信会社（経営者）	・景気の上昇が実感できないなか、消費に意欲的な人と、より一層の節約を志向する人の二極化が進みつつある。
	ゴルフ場（支配人）	・天候に左右されるゴルフ場において、標高の高いコースのため、7～8月は、一般客が避暑を兼ねて来場することを期待している。
	美容室（経営者）	・先月までは美容院出店の相談件数が多かったが、今月に入り、相談件数は極端に少なくなり始めている。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・各テナントとも、キャンペーンの時のみ来客があるというパターンが変わらない。ホテルの予約、大型シネプレックスや家電量販店の動きについても横ばいであり、変わらない。
	その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・イベント関係で状況判断するのは難しいが、現在の状況は続くとみている。
	設計事務所（所長）	・イベントを行ったが、あまり効果は期待できなかったので良くはならないのではないか。
	住宅販売会社（従業員）	・別荘利用者の高齢化が進んでいる。また、建物の老朽化もあり、別荘数はなだらかな減少傾向にある。
	住宅販売会社（経営者）	・地方では景気が良くなっている気配はなく、好況感もない。現状が変わる要素もない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・身近な商品の物価が上昇しており、節約志向が目につく。
	商店街（代表者）	・例年どおりだが、やはり3か月後はトップシーズンが過ぎるので、やや悪くなる。今年もその点は変わらない。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・地方の末端の消費に上向き気配はない。消費意欲減退の傾向が続く。
	コンビニ（店長）	・6月末に、当店の商圏内で最も近い場所に同業他社がオープンした。当分の間、この影響が悪い方向に出る。客は分散し、社員やパート、アルバイトの絶対数が不足し、責任者は疲労困ぱい、お先真っ暗で、廃業が目先にちらついている。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・前年から約1割程度、販売量は減少してきている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・8～9月の現時点での売上が前年に比べて弱いと、やや悪くなる。
	旅行代理店（副支店長）	・当県については、名刹のご開帳や北陸新幹線延伸開業等の大きなイベントが終了し、今後の受注が心配される。また、海外も情勢不安、テロなどの懸念があり、受注に大きく影響が出る可能性もある。旅行業界的には先行きに不安要素がある。
	タクシー（経営者）	・6月の動きから見ると、この先も悪い。
	タクシー（役員）	・今後は乗務員の高齢化、人手不足が重要な問題になる。
	通信会社（経営者）	・LPGガス販売部門について、原油安で仕入価格は下がっているが、今後米国の利上げで更に円安が進むことも予想され、不安材料である。また、来年以降、電気、都市ガスの小売自由化が更なる競争の激化を促し、先行きは明るいとは言えない。地方創生とうたっているが、零細企業とうたっているのが現状である。
	競輪場（職員）	・特別競輪G1レースの売上が、なかなか目標額に達しない状況にある。
	設計事務所（経営者）	・計画数が少ないため今後も収入が減っていくとみている。
	設計事務所（所長）	・最も悪意にしていた建設会社が、今月倒産した。後継者がいないうえ、今後に期待が持てる商売ではないからと聞いている。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）
乗用車販売店（管理担当）		・円安による輸入品や原油など高騰により、消費意欲は低迷しており、まだまだ厳しい。
都市型ホテル（スタッフ）		・これから売上は落ちる一方になるとみている。
通信会社（経営者）		・まだまだ地方の業況に光は見えず、広報以外の売上確保を検討中である。

企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	<p>輸送用機械器具製造業（経営者） ・今後も、主要取引先の輸出増加により、良くなっていくとみている。</p> <p>その他製造業〔環境機器〕（経営者） ・自社の大規模太陽光発電装置の出力は0.5～1.3メガワットで合計約5メガワットである。7月、8月、12月と順次、大手電力会社と連携予定である。</p>
	やや良くなる	<p>食料品製造業（営業統括） ・国内消費、輸出とも順調に推移している。ただし、従来は輸入バルクワインと国産ワインをブレンドしたものは、国産品と呼べたが、ワイン表示基準が変更され国産100%でない国産と表示できなくなるため、今後は国産原料の調達に難しくなるおそれがある。</p> <p>電気機械器具製造業（経営者） ・取引先からの受注が、7～9月まで少し上向きになるとの情報が入っている。</p> <p>その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者） ・円安の影響により高騰した仕入価格を、販売価格に少しずつ反映できている。しかし仕入意欲は低い。</p> <p>建設業（経営者） ・公共事業の発注ピークが来るため、やや良くなる。</p> <p>建設業（開発担当） ・株高等、経済の順調な影響を受け10年以上不況業種であった建設業は、ありがたい状況となっている。これは現政権が安定して続いているのが一番の原因ではないか。公共事業発注額は、現時点で前年比26%増である。ただ、材料費の高騰や人件費増など問題も抱えている。人件費に関しては若い社員が入社してこないなど人員不足が影響している。建設業が魅力ある業種になることが大切である。</p> <p>通信業（経営者） ・新聞、テレビの報道を見て、景気が良くなりそうな気配である。</p> <p>金融業（経営企画担当） ・今後の見通しが上向きと判断する製造業、サービス業の企業は多い。</p> <p>広告代理店（営業担当） ・今の状況から良くなると、大変なことになる。消費が低迷しているので、秋には反動があってもおかしくないとみている。</p> <p>新聞販売店〔広告〕（総務担当） ・各地で発行されるプレミアム付商品券が当地でも7月から発売となり、約半年間使用される。どの市でも売行き好調で購入できなかった人の不満が、多数新聞記事になっている。当市では予算数十億円の規模のため期待する小売店も多い。</p> <p>その他サービス業〔情報サービス〕（経営者） ・現在の受注量からみて、徐々に改善する。</p>
	変わらない	<p>化学工業（経営者） ・夏場の需要が落ち込むという流れは変わっていない。それを押しよくするような引き合いや情報等の材料も少なく、現状を維持できれば可と考え、好転を期待している。</p> <p>窯業・土石製品製造業（経営者） ・年末商材の受注見込みや、新商品及び一般向け体験教室の展開により、やや明るい見通しである。</p> <p>一般機械器具製造業（経営者） ・当月は多少受注量が増加したものの、今後さらに伸びるとは考えにくい。経営的に悪い状況は変わらない。</p> <p>電気機械器具製造業（経営者） ・新規の案件もあまりなく、客も仕事の話になると、しばらくは低空飛行が続き、受注量は少ないと言われる。今6社くらいと取引があるが、まともに取引があるのは1社だけで、他の4～5社は2～3割落ちている。</p> <p>電気機械器具製造業（経営者） ・案定した仕事を確保するのは難しいが、単発の仕事で埋めていく状態が続く。</p> <p>電気機械器具製造業（営業担当） ・引き合いが減少しており、相変わらず受注内容が厳しい状況が続いている。</p> <p>輸送用機械器具製造業（経営者） ・2～3か月先はまるでわからない。とりあえず、1～2か月は前月同様あまり悪くない、どちらとも言えない状況で、まずまずである。</p> <p>その他製造業〔消防用品〕（営業担当） ・しばらくこのままで推移すると考える。</p> <p>建設業（総務担当） ・明るい材料はないが、全く仕事がないわけでもない状況が続くそうである。</p> <p>輸送業（営業担当） ・梅雨が明けると、夏物の家電、インテリア用品等が動く予定であるが、現状は例年並みとみている。</p> <p>金融業（調査担当） ・大きな変化はなく、現状の水準が続くとみられる。</p> <p>金融業（役員） ・ボーナス商戦が一つのバロメーターだとみている。</p> <p>不動産業（管理担当） ・当社が直接受注する仕事よりも、他社経由で話が回ってきて、当社が下請となる案件が増える傾向にある。売上は増えても収益的に現状維持がやっとの状態が続く。</p> <p>経営コンサルタント ・夏季のレジャーシーズン、お中元等の消費次第であるが、いずれにしても個人消費に大きな変化はない。また、設備投資にやや期待が持てる。</p> <p>司法書士 ・このまま良い方向へ行くとは思わないが、現状維持していくのではないかと。</p>

		社会保険労務士	・売上が回復してきている事業所は多いものの、原材料等高騰分の価格転嫁ができない事業所が多く、利益はあまり出ていない。
	やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・ギリシャ問題で円安に振れていくかは定かではないが、依然として、原料費は高止まりで厳しい。こうしたなか、スーパーでの売上は伸びず、稼ぐ場所がなくなっている。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先の様子を聞いても、7～8月の業務受注量がどういふ風になるか、気になるところではあるが、夏休みという感じで、仕事の量は多くならない予定なので、本当に困っている。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・依然として利益は上がらず、資金繰りが大変である。
雇用 関連 (北関東)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・自動車関連は、新機種、新車等の部品の増産がある。これから夏休みに向け、レジャー産業も活発さが出てきそうである。現状、衣料関係の横ばいと、生鮮食料品等のうち天候に影響される野菜が、落ちつくかどうか、不安材料である。依然として介護職等の求人は多く出ているが、なかなか定着しない従業員について悩みがあるようである。
		人材派遣会社（経営者）	・今年は今までと違い、仕事が安定している。前年よりは良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・観光地での仕事が、結構な量を占めているが、名刹の例大祭や、それに関連するイベントで、県内観光客が増えている。ホテルの稼働率が上がり、当社もその分売上が良くなっている。3か月先というと、夏休みなどでまだ効果も持続している。
		人材派遣会社（管理担当）	・分析業務や改善業務が増えると予測しているため、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・面接会参加希望企業が前年より多く、採用意欲の高まりを感じる。
		変わらない	人材派遣会社（営業担当）
		人材派遣会社（支社長）	・例年同様、季節変動と共に派遣引き合いの数は減っているものの、製造業から検査や軽作業、フォークリフト作業者などの引き合いが多くなってきている。バランスとしてはとんとんである。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・例年7～8月は小売、サービス業が忙しく、パート、アルバイトの募集を求人誌で行う企業が多くなる。しかし季節的な増員であり安定した求人とは見込めない。
		職業安定所（職員）	・名刹のご開帳終了後に観光客は大きく減少したが、人手不足の状況は続いており、新規出店、工場操業等の予定もあるため、求人申込については引き続き増加傾向にある。ただし業種間にばらつきがあるため今後も注意は必要である。
		職業安定所（職員）	・企業からの情報では、近々に景気が良くなるようにはみえない。
		職業安定所（職員） 学校 [専門学校]（副校長）	・求人及び求職者の動きが鈍く、低調感がぬぐえない。 ・現在、人材を採用し成長をめざす企業でも、新卒者対象の定期採用を行っている企業はまだ少ない。多職種で定期採用が増えてきた時に、本当の意味で景気が回復したといえるのではないかと。
	やや悪くなる		
	悪くなる	-	-